

令和5年度 第1回 広島県道路交通渋滞対策部会

議事録

1. 日 時 令和5年7月31日(月) 10:00~11:00

2. 場 所 広島国道事務所 5階 大会議室

3. 出席者

[委員] ※敬称略

佐々田 敬久	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長	
今田 修	国土交通省中国地方整備局建政部	都市・住宅整備課 建設専門官	【代理出席】
内田 豪士	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長	
伊本 浩之	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長	【欠席】
西岡 寿雄	国土交通省中国地方整備局道路部	交通対策課長	
田宮 佳代子	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	事務所長	
梅林 幾彦	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	事務所長	
藤原 康史	国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所	副所長	【代理出席】
大林 元	国土交通省中国運輸局交通政策部	環境・物流課長	
藤本 陽	国土交通省中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官 輸送・監査担当	
南 博高	広島県土木建築局	道路企画課長	
下隠 俊作	広島県土木建築局	道路整備課長	
廣中 伸孝	広島県土木建築局	都市計画課長	
後藤 裕司	広島県土木建築局	都市環境整備課長	
花田 憲治	広島県警察本部	交通規制課 課長補佐	【代理出席】
前川 豊	広島市	都市計画課長	【欠席】
本畝 学	広島市	道路計画課長	
佐々木 茂治	広島市	道路課 課長補佐	【代理出席】
松岡 宏昭	広島市	街路課長	
岩井 良太	広島市	公共交通調整担当 課長補佐	【代理出席】
阪本 良夫	西日本高速道路株式会社中国支社	企画調整課長	
岡村 英史	本州四国連絡高速道路株式会社	しまなみ尾道管理センター計画課 主査	【代理出席】
副島 大輔	広島高速道路公社	企画調査課長	
山岡 弘和	公益社団法人広島県バス協会	事務局長	
田中 徹	公益社団法人広島県トラック協会	常務理事	【代理出席】
山口 昭博	一般社団法人広島県タクシー協会	専務理事	
[オブザーバー] ※敬称略			
桑垣 千春	廿日市市建設部	次長(兼) 宮島口みなとまちづくり推進課長	

4. 議事

- (1) 規約の改正
- (2) これまでの検討経緯
- (3) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (4) 主要渋滞箇所特定解除フロー
- (5) 国道54号におけるTDM施策
- (6) 観光地における渋滞対策
- (7) G7広島サミット開催期間中における交通状況

5. 議事概要

- (1) 規約の改正案について提案し、第8条の「福山河川国道事務所調査設計第二課」を「福山河川国道事務所調査設計課」とすることで了承された。
- (2) これまでの検討経緯について確認した。
- (3) 最新データを用いて、各主要渋滞箇所の渋滞状況変化について、点検結果を確認した。
昨年度開通した「東広島・安芸バイパス」及び、昨年度に対策を実施した「祇園新橋南交差点」について、効果検証した結果を確認した。
今年度以降の渋滞対策である「広島城南交差点～県立総合体育館前交差点」及び「千間土手中交差点」について、検討している対策内容を確認した。
- (4) 主要渋滞箇所特定解除フローの改正について提案し、了承された。
- (5) 国道54号におけるTDM施策について、昨年度の取り組み結果及び今年度の取り組み方針を確認した。
- (6) 観光地（宮島口）における渋滞対策について、これまでの取り組み状況を確認した。
国道2号宮島口駅前交差点の速度低下を緩和するため、並行する広島岩国道路への交通転換促進を目的とした料金割引施策を含む具体的な対策内容を、関係機関と連携しながら議論していくことを報告した。
- (7) G7広島サミット開催期間中における交通量抑制の取り組みと交通状況を報告した。

6. 委員からの主な意見

○主要渋滞箇所の特定解除にあたり、従来は渋滞緩和が2年間継続していることを確認した上で判断していたが、今回渋滞緩和を確認する期間を短縮する狙いは何か。【P28】

<事務局回答>

対策完了に伴い明らかに渋滞が緩和している箇所についても解除までに時間を要するなど、実態と即していない面もあった。

そのため、対策や周辺状況変化による渋滞緩和が明確な箇所について評価期間を短縮し、スピード感をもって検討を進めることが可能となるようなフローの改正案をご提案した。

なお、渋滞緩和の判断が明確にできない箇所については、経過観察とすることも可能。

○TDM施策の広報は国道54号の沿線に加え、主な通勤先となる広島市街も対象としてはどうか。

広島市では包括連携協定を締結している企業への情報提供を行うことも可能である。【P38】

<事務局回答>

今後、具体的な取り組みは御意見を踏まえ、調整していきたい。

○環境への影響の観点からマイカー通勤の自粛を呼び掛けてはどうか。

また、バスレーンの順守を周知していただきたい。【P38】

<事務局回答>

今後、具体的な取り組みは御意見を踏まえ、調整していきたい。

○広島市では「中山踏切交差点」について立体化を進めており、令和6年春頃に供用予定である。【P19】

以上